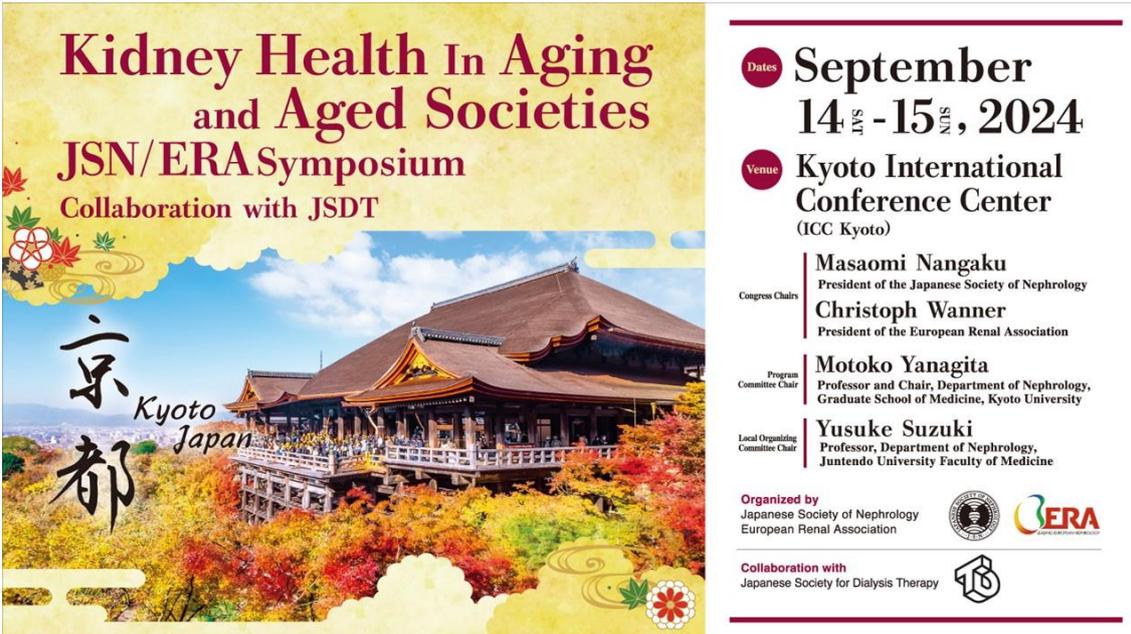


日本腎臓学会員の皆様

平素より国際活動に対してご理解とご協力を賜っておりますことを心より感謝申し上げます。さて、来週京都で行われます Kidney Health In Aging and Aged Societies: JSN/ERA Symposium Collaboration with JSDT について、現在も Regular Registration を受付中であり、当日現地受付も可能でありますことをご知らせさせていただければ幸いです。



**Kidney Health In Aging
and Aged Societies**
JSN/ERA Symposium
Collaboration with JSDT

京都
Kyoto
Japan

Dates September 14th - 15th, 2024

Venue Kyoto International Conference Center (ICC Kyoto)

Congress Chairs
Masaomi Nangaku
President of the Japanese Society of Nephrology
Christoph Wanner
President of the European Renal Association

Program Committee Chair
Motoko Yanagita
Professor and Chair, Department of Nephrology,
Graduate School of Medicine, Kyoto University

Local Organizing Committee Chair
Yusuke Suzuki
Professor, Department of Nephrology,
Juntendo University Faculty of Medicine

Organized by
Japanese Society of Nephrology
European Renal Association

Collaboration with
Japanese Society for Dialysis Therapy

また、Nature Review Nephrology 誌 volume 20, issue9 に Kidney health in the ageing world の特集が組まれています。

<https://www.nature.com/collections/jcedgbadfa>

シンポジウムのハイライト以下に紹介申し上げます

9月14日 (Day 1)

Session 1 World demographic changes and renal diseases in ageing/aged society

1.3 Healthy Ageing: What do we do know? What can be done? What are the challenges for nephrology? Danilo Fliser (Germany)

健康的な老化は、高齢期において幸福を維持するための機能的能力を保つプロセスと定義され、主要な要素として身体的および精神的健康、社会的関与、自律性と独立性が含まれます。高齢者における腎機能の低下や慢性腎臓病 (CKD) のリスク増加が懸念されていますが、その認識はまだ低く、腎臓病の予防、早期発見、個別ケアプランが重要です。

Session 2 Healthy ageing and the kidney

2.2 Lessons from the centenarians. Yasumichi Arai (Japan)

老化は腎臓の構造変化を伴い、糸球体濾過率（GFR）の低下と慢性腎臓病（CKD）の増加を引き起こします。肥満、糖尿病、高血圧、脂質異常症が GFR の低下を加速させます。百歳以上の長寿者は低い心血管リスクを持ちますが、CKD の頻度が高いと報告されています。腎臓老化のメカニズムの解明や予防戦略の策定が重要です。老化関連の慢性炎症が腎臓老化を促進する可能性が示唆されています。

Session 3 Mechanism of ageing (kidney)

3.2 Kidney rejuvenation. Juan Carlos Izpisua Belmonte (USA)

老化は組織や臓器の機能低下や老化関連疾患のリスク増加を特徴とし、健康寿命の延長を目指して様々な若返り介入が提案されています。これらの介入には代謝操作や老化細胞の除去が含まれ、エピジェネティックな遺伝子調節機構の操作が治療や老化遅延に重要です。山中因子による部分的な再プログラム化が細胞の健康と腎臓の回復力を回復させ、疾患や障害を逆転させる可能性があります。

9月15日（Day 2）

Session 4 Unique comorbidities and their management in aged CKD patients

4.2 Cognitive dysfunction and psychological disorders in aged CKD patients.

Nobuhito Hirawa (Japan)

高齢者において慢性腎臓病（CKD）が増加しており、その管理が重要な課題となっています。CKD と脳との関係は「脳腎関連」と呼ばれ、高血圧が主要なリスク要因です。しかし、血圧以外の要因も腎機能や脳血管疾患に深く関与しています。CKD 患者は認知機能障害や心理的障害を抱えることが多く、生活の質や治療の遵守に影響を与えるため、多職種連携による包括的な取り組みが必要です。

Session 5 Kidney replacement therapy in the elderly

5.3 Moderated round table discussion Pro's and Con's.

Prof. Mustafâ Arici , Prof. Dimitrios Goumenos, Prof. Albert Ong

Prof. Kazuhiko Tsuruya, Prof. Ken Sakai, Ms. Nami Takai

Session 6 Policy building in aged society: How will ageing impact on the profession of nephrology and on the delivery of nephrology care? Fergus Caskey (UK)

高齢社会に向けた健康政策を構築するには、腎臓ケアのシステム計画、サービス設計、提供方法を考慮する必要があります。まず、高齢者の優先事項を理解し、それに合ったサービス

を設計することが重要です。次に、新しいサービスの効果を証拠に基づいて評価し、直感的に良さそうなものをすぐに導入することを避けるほうが望ましい。最後に、高齢者を臨床研究に含め、治療レベルでの証拠が彼らにも適用できるようにすることも必要です。

それでは皆様のご参加をお待ち申し上げます。WCN2026 YOKOHAMA のキャンペーンブースも設置しておりますので、ぜひともお立ち寄り下さいませ。

日本腎臓学会
国際委員会